

京都市大気汚染対策指導要綱に基づくばい煙発生施設の設置の届出について

1 届出が必要な場合	工場又は事業場にばい煙発生施設*を設置しようとする場合 ※ 大気汚染防止法の規模要件を満たさないボイラーで、伝熱面積が5 m²以上のものに限る。
2 届出を行う者	工場又は事業場にばい煙発生施設を設置しようとする者 ○ 法人の場合には、原則として、本社の住所・代表者の氏名を記入してください。
3 届出書類	① 第1号様式によるばい煙発生施設設置届出書（別紙1参照） ② ばい煙発生施設設置計画書（別紙2参照） ③ 工程図及び排煙系統図（別紙3参照） ④ 公害防止組織及び対策の概要（別紙3参照） ⑤ 付近見取図（別紙4参照） ⑥ ばい煙発生施設設置配置図（別紙5参照） ○ 別紙3に記入されている場合は不要です。 ⑦ ばい煙発生施設の構造図 ○ 仕様書、カタログ等を添付してください。 ⑧ 試験成績表（別紙6参照） ○ 燃料が重油、灯油及び再生油等の場合は、添付してください。
4 届出部数	3部 ○ 1部は、審査完了後に返却します。
5 届出期限	ばい煙発生施設の設置工事着手日の60日前まで。 ○ 届出日及び設置工事着手日は算入しません。
6 提出先及び問合せ先	○ 工場又は事業場の所在地が北区、上京区、左京区、中京区、右京区の場合 京都市環境政策局環境企画部北部環境共生センター 〔 京都市左京区松ヶ崎堂ノ上町7番地の2 左京区総合庁舎2階 〕 TEL：075-701-9800 FAX：075-701-9810 ○ 工場又は事業場の所在地が東山区、山科区、下京区、南区、西京区、伏見区の場合 京都市環境政策局環境企画部南部環境共生センター 〔 京都市南区西九条森本町62-1 〕 TEL：075-671-0511 FAX：075-671-0322

記入例

別紙 1

第 1 号様式（第 3 条関係）

二重線で削除してください。

ばい煙発生施設設置 ~~（変更）~~ 届出書

(あて先) 京 都 市 長	令和○年○月○日
住所（法人にあっては主たる事務所の所在地） ① ○○府○○市○○町○○	氏名（法人にあっては名称及び代表者氏名） ② 株式会社 京都 代表取締役 京都 太郎 担当者職氏名 施設課 京都 次郎 電話 (○○○) ○○○-○○○○

二重線で削除してください。

京都市大気汚染対策指導要綱第 5 条第 1 項 （第 6 条） の規定により、次のとおり届け出ます。			
ばい煙発生施設の 定格能力の合計	③ 200.0Nm ³ (238.0L)	／時	④ うち届出に係る 50.0Nm ³ × 2 新設 （変更） 分 (59.5L × 2) ／時
工場等の所在地	京都市○○区○○町 ○○番地	工場等の名称	株式会社 京都 御池支店 電話 (○○○) ○○○
事業内容	総合商社	主な製品名	⑤ -
用途地域	第 1 種低住専、第 2 種低住専、第 1 種中高住専、第 2 種中高住専、 第 1 種住居、第 2 種住居、準住居、 <u>近商</u> 、商業、準工、工業、 工業専用、その他（ ）		
基準適用 区域区分	第 1 種区域、 <u>第 2 種区域</u> 、第 3 種区域		
排水の放流先	<u>下水道</u> 、公共用水域（ ）、その他（ ）		
着手予定年月日	令和○年○月○日	使用開始 予定年月日	令和○年○月○日
ばい煙発生施設 設置計画書	別紙のとおり。		
付近見取図	別紙のとおり。		
ばい煙発生施設 配置図	別紙のとおり。		

① 自宅住所又は、法人の場合は登記に記載された本社住所を記入してください。

② 工場又は事業場の名称ではなく法人の名称を記入してください。

③ 大気汚染防止法及び要綱対象の施設の能力の合計を記載してください。

ガスの場合は、ガスの燃焼能力（単位：Nm³/h）を記入し、重油換算値（ガスの燃焼能力に 1.19 を乗じた値（単位：L/h））を括弧書きで記入してください。

④ 新設分の施設の能力を記載してください。

⑤ 工場の場合のみ記載してください。

別 紙

ばい煙発生施設設置(変更)計画書

		① 新 設 (変 更)	② 既 設
計 画 の 概 要	施 設 の 種 類	冷温水発生機	貫流ボイラー
	使 用 目 的	冷暖房	給湯
	設 置 台 数	2	1
	定 格 能 力 の 合 計 (/ 時)	100Nm ³	100Nm ³
	原 料 の 処 理 能 力 (t/時)		
	焼 却 能 力 (kg/時)		

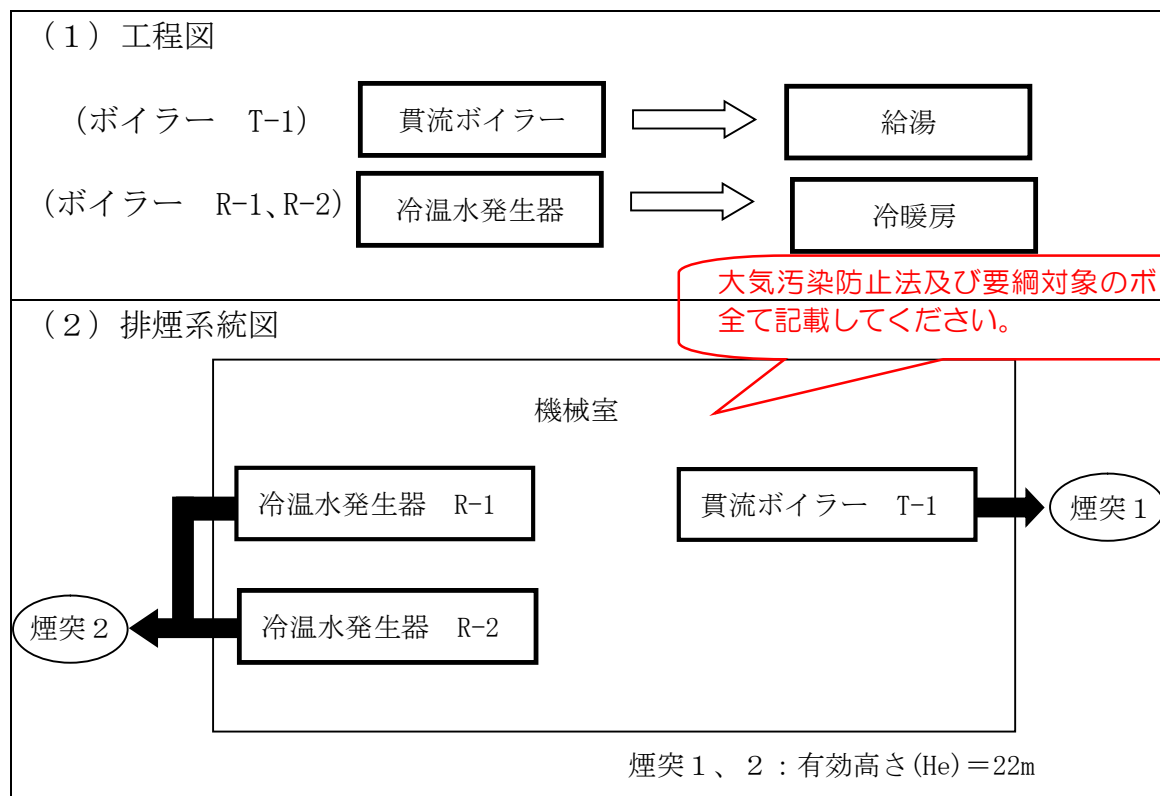
施 設 の 構 造 ・ 稼 動 状 況	施 設 の 番 号		③ R-1	R-2	T-1	
	施 設 の 名 称		ボイラー	ボイラー	ボイラー	
	施 設 の 型 式		○ - ○	○ - ○	△ - △	
	着 手 予 定 年 月 日		R○年○月○日	R○年○月○日	R○年○月○日	年 月 日
	使 用 開 始 予 定 年 月 日		R○年○月○日	R○年○月○日	R○年○月○日	
	排 出 口	番 号	④ 煙突 2	煙突 2	煙突 1	
		実 高 さ (m)	22m (傘付)	22m (傘付)	22m (傘付)	
		内 径 (cm)	18 c m	18 c m	18 c m	
	規 模	伝 熱 面 積 (m ²)	9.8 m ²	9.8 m ²	11.0 m ²	
		定 格 能 力 (/ 時)	50Nm ³	50Nm ³	100Nm ³	
		原料の処理能力 (t/時)				
		焼 却 能 力 (kg/時)				
	稼 動 状 況	燃 原 料 の 種 類	都市ガス 13A ⑤	都市ガス 13A	都市ガス 13A	
		硫 黄 含 有 率 (%)	⑥ 0 %	0 %	0 %	
		年 間 使 用 量	⑦ 142、350	142、350	284、700	
		稼 動 期 間	1 月 ~ 12 月	1 月 ~ 12 月	1 月 ~ 12 月	月 ~ 月
		稼動日数 (日 / 年)	365	365	365	
		稼動時間 (時 / 年)	4、745	4、745	4、745	
		定 格 比 (%)	60	60	60	
	排 煙 処 理	施 設 番 号				
		処 理 方 法				
		SO ₂ 捕集効率 (%)				

煙突の場合、
傘の有無を
記入してく
ださい。

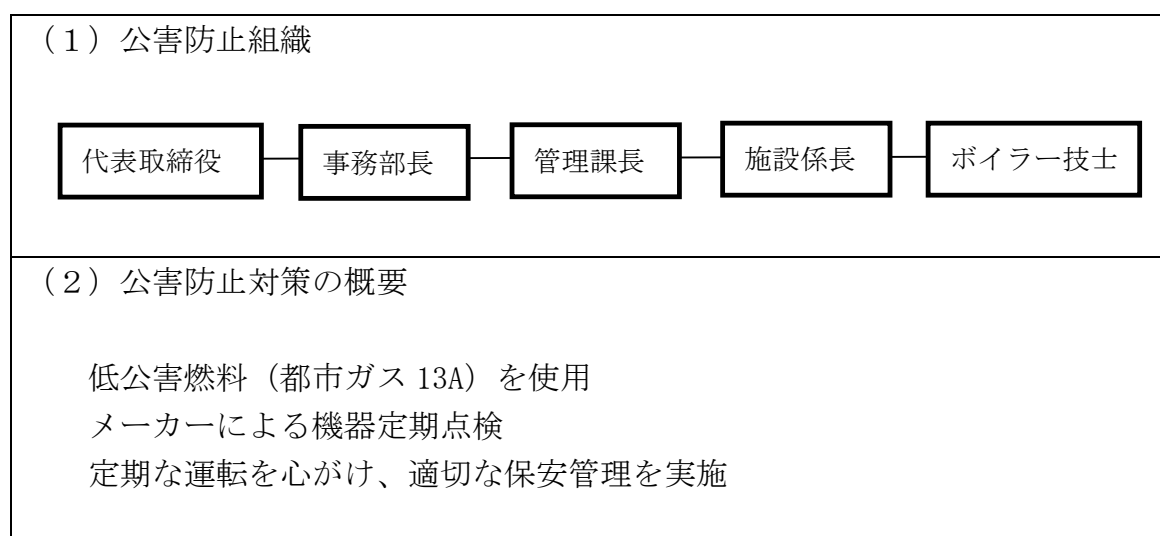
- ①新設の欄には、今回新たに設置するばい煙発生施設について記入してください。
- ②既設の欄には、既に大気汚染防止法及び要綱の届出をしているばい煙発生施設についてすべて記入してください。
- ③④施設の番号及び排出口の番号はばい煙発生施設設置配置図にも記入してください。
- ⑤⑥区域によっては燃種及び硫黄含有率について規制があります。
- ⑦年間使用量＝定格能力×稼働時間×定格比（定格能力に対する通常使用する能力の比率）

工程図及び排煙系統図

同内容が記載された資料があれば、本用紙に「別添のとおり」と記載し、当該資料を届出に添付しての提出も可能です。

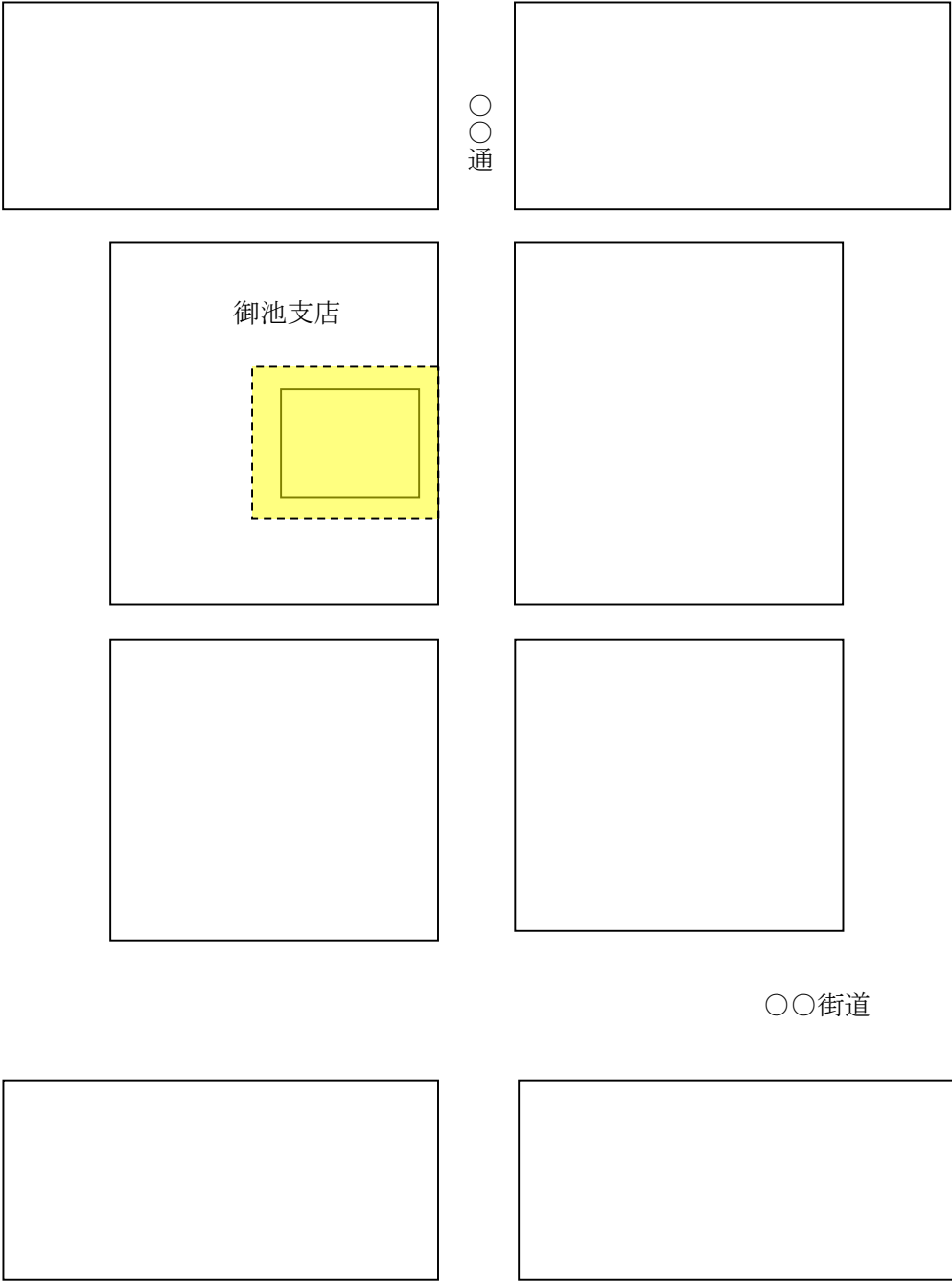


公害防止組織及び対策の概要



(注) 紙面不足の場合は、別途 A 4 用紙に記入し添付すること

付近見取図



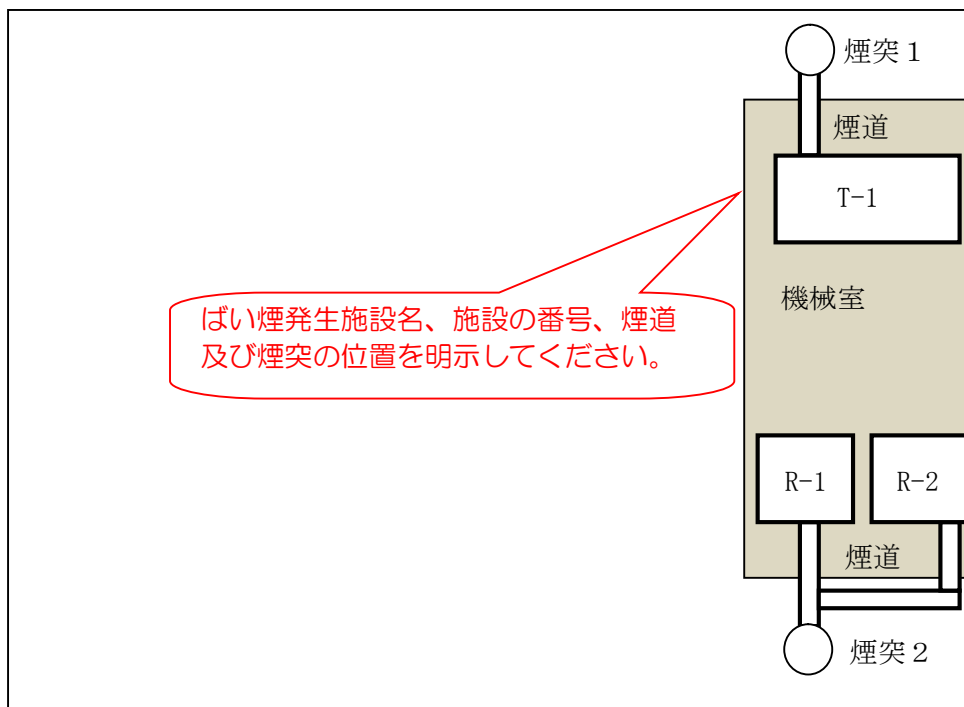
4

【ばい煙発生施設の設置場所（平面図）】

敷地

御池支店 地下1階

4



備考

- 1 ばい煙発生施設を設置する工場又は事業場の敷地全体を明示してください。
- 2 ばい煙発生施設及び施設番号を記入してください。
- 3 ばい煙発生施設を設置する全ての階の平面図を添付してください。

燃料に、重油、灯油及び再生油等を使用する場合は、添付してください。

別紙 6

令和〇年〇月〇日

試験成績表（代表性状）

〇〇株式会社販売部

製品名：L S A 重油

試験項目	単位	試験法	測定値
密度	g/cm3	JIS K 2249	〇〇
反応		JIS K 2252	〇〇
引火点	℃	JIS K 2265-3	〇〇
動粘度（50℃）	mm2/s	JIS K 2283	〇〇
セタン指数		JIS K 2204-1992	〇〇
流動点	℃	JIS K 2269	〇〇
目詰まり点	℃	JIS K 2288	〇〇
残留炭素分	質量%	JIS K 2270	〇〇
10%残炭	質量%	JIS K 2270	〇〇
硫黄分	質量%	JIS K 2541	〇〇
窒素分	質量%	JIS K 2609	〇〇
灰分	質量%	JIS K 2272	〇〇
水分	質量%	JIS K 2275	〇〇
総発熱量	kJ/kg	JIS K 2279	〇〇
真発熱量	kJ/kg	JIS K 2279	〇〇

京都市大気汚染対策指導要綱に基づく ばい煙発生施設の設置に係る届出のフロー図

